

団 風

第25号

発行日 平成22年12月4日
 機関紙命名 鵬雲斎大宗匠
 題字揮毫 納屋宗淡師
 発行所 妙茶道裏千家淡交会青年部
 近畿第一ブロック
 発行人 近畿第一ブロック長
 岡本 政明
http://www.geocities.jp/tankokai_kinki1/
 裏千家ホームページ
<http://www.urasenke.or.jp>

この二年間の3大ニュース



③位 全国大会で映像大賞受賞



②位 ブロック会員大会



①位 国際交流研修 IN 韓国



お茶をしましょう！

平成二十三・二十四年度ブロック長 安田 浩人

お茶をしましょう。難しいことは要らないのです。まず、茶筌とお茶碗を持って家族やお友達、職場でお茶をしましょう。

お菓子もあり合わせでいいじゃないですか。

お菓子をなくても、到来物でもゼンゼンOK。

お茶を点ててあげたら自然と会話が生まれるはず。続いて自腹するもよし。かわりばんこで

点てもらえたら最高！

感謝してもらいたいからお茶を出すのではなく、よろこぶ顔を私が見たいのです。

私たちは青年部員。

「青年部だから許される」ことの強みを生かして、自由な発想でどんなやつてみようじゃない

ですか！

失敗したつていいのです。青年部なんですから。知らなくてもいいのです。先生じゃないんですから。

楽しくなければお茶じゃないです。

楽しくなければ青年部じゃないです。

まずは茶筌を振りましょう、お稽古場ではないところ。

失敗したつていいんです。またお稽古すればいいんですから。

知らなくてもいいんです。先生にお尋ねすればいいんですから。

そうこうするうちに、あり合わせのお菓子で

は物足りなくなつて、季節のものが欲しくなるかも。もつともつといういろいろ知りたくなるかも。

その時、先生に尋ねるのもよし、青年部の仲間

に聞くのもよし。そんな選択肢の二つにブロック

行事が有るかも知れません。

せつかく入った青年部。

二つの社中、二つの青年部では出来ないことをやるのがブロックです。一緒にブロック行事に参加

して、知的好奇心を満たしましょう。

それにはまずあなたの第一歩が必要です。

ブロックでお会いしましょう。



一年間を顧みて感謝

平成二十・二十一年度ブロック長 岡本 政明

あつという間に二年が経ちました。近畿第一ブロックのブロック長という大役を仰せつかり私のような人間に勤まる役職ではないと存じておりましたがお世話になった皆様のおかげでなんと任期を終了することが出来そうです。本当に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

太田元ブロック長の時からブロックに関わり

お陰様で四期にわたつて勉強をさせて頂きました。二つが全て素晴らしい思い出になり私の宝物となりました。私自身はとっても充実

した時間でしたが、今期ブロックに関わつていた

だいた皆様にはどのように感じておられるので

しょうか？役員の方々ははじめ皆様にはとつて

も忙しい思いをさせたことでしょう。私だけの

自己満足になつてゐるのではと今二度反省をいた

しております。その大変だった事柄が後に思い

起された時に皆様にとつて充実した良い思い出

出になつていけば嬉しく存じますが。何事でも

事業をつ成功させるためには困難がつきもので

すがついつい愚痴がこぼれ、その事だけがまわりの

メンバーに拡がつてしまひブロックは大変だとい

うイメージを持たせてしまつたかも知れません。

でもその後付いてくる達成感や充実感は実

際に関わつてみなければ味わえない物でした。

これからは是非積極的にブロックに関わつて

いただき皆様のご活躍され良い思い出を作られ

ることを祈念して二年間の御礼とご挨拶にさ

せていただきます。ありがとうございました。



二年間を振り返つて

平成二十・二十一年度幹事長

村山 早智子

ブロック幹事長を拝命して早二年、会員大会・ブロック研修会・国際交流研修等々ひとつひとつの行事を重ねるうちに任期が終わろうとしています。

それぞれの行事を通じて感じますことは、ブ

ロックとは不思議なもので初対面の人でもお茶

という共通言語があるのですぐに仲良くなれ、

仲間の輪が広がっていくということです。

私はこれまで、自分の出来ることは手をあげ

てして、お互い助け合つて青年部活動を行うと

いう先輩方の姿をお手本に頑張つてまいまし

た。しかし、この二年は近畿第一ブロックという大

きな輪に守られ、皆様に助けていただくばかり

だったように思います。

ご指導賜りました大宗匠様、御家元様はじ

め御宗家・総本部の皆様、暖かく見守つていた

だきました親先生・先輩方、会員の皆様に心より

感謝申し上げます。ありがとうございました。





統括副ブロック長
米澤昭博

力を合わせた二年間、沢山の笑顔を見ました。楽しい声も聞きました。歳を重ねることに青年部とお茶の楽しさを実感しています。残すところ二年、増々楽しんでみせます！



会員増強委員会
副ブロック長
木下圭子

会員大会、全国大会そして国際交流研修等々多くの方々と茶道を学びながら楽しく過ごさせていただきました。ご指導いただきました先生方、親交のあった青年部会員の皆様に心よりお礼申しあげます。



渉外委員会
副ブロック長
石原義清

今期は、全国大会や京都支部五十周年でどたばたでしたがブロックの皆さんに助けて頂き、いい時間を過ごさせて頂きました。それぞれの席で作らせていただいたお菓子も挑戦の機会を頂き感謝しています。



茶会推進委員会
副ブロック長
野村秀和

奈良・京都両支部青年部が五十周年という大きな節目を迎えた中で、全国大会、国際交流研修等、個人では出来ないことを大勢の仲間と助け合い、行事を作り上げていくことは大きな財産となりました。



広報・IT委員会
副ブロック長
藤原奈緒美

良い相棒、楽しいメンバーに恵まれた広報・IT委員会での活動は有意義な時間を持つことができた二年間でした。副ブロック長三期目となった今期もどんな時も私を支えてくれた皆に感謝です。



渉外委員会
副ブロック長
丸山亨子

ブロック会員大会・全国大会・国際ミッションなど大きな行事が目白押しの二年間でしたが、委員会の皆様始め、たくさんの方に支えられました。行事にかかる団結力とパワーは近畿第ブロックならではのものと思います。本当に皆様、有難うございました。



会員交流委員会
副ブロック長
高野一

早いもので来年(平成二十三年)には卒業年次を迎え、自分自身の中にある唯一の「寿年」という文字がなくなってしまう……入会以来十年、青年部活動を通じて様々な出会い、体験、修練を積み重ねていただいたことに心より感謝致しますと共に、全ての青年部員の皆様に益々のご発展を祈念いたします。多謝合掌



国際交流委員会
副ブロック長
安田浩人

九月三・五日、釜山に行ってきた。茶道あり高麗茶碗研修あり交流あり、観光・グルメ・エステあり：二泊三日という限られた中で大変充実した中身となりました。



広報・IT委員会
副ブロック長
片岡潤哉

月に一回の委員会・懇親会、ブロック行事に、いつも80%程の高出席で参加いただいた委員会メンバーには、変えなければいけないこと、変えてはいけないことを教えていただきました。本当に楽しい二年間でした。ありがとうございます。



ブロック活動方針

- ◆会員増強のとりくみ
- ◆仲間とお茶を楽しもう
- ◆親支部・学生茶道との連携



協議会

◆平成二十二年二月一日
◆場所/池坊学園

岡本ブロック長と共に新体制スタート

岡本ブロック長が所信表明の中で、「長い歴史と伝統を誇る淡交会青年部。会員減少による問題を抱えている今、この現状を真剣に見つめ直し、少しの勇気をもつて行動しよう。メンバー一人ひとりが、やるときはやる！の精神で共に楽しく行動していきましょう。」と述べられました。その後、各委員会が開催され、二年間の活動計画が発表されました。



合同茶会

裏千家学生茶道研究会との



青年部菓子席



この合同茶会は、関西二十二の大学で構成される『裏千家学生茶道研究会(裏研)』とわたしたち青年部が、お互いに刺激し合い、学び合えるよい機会です。

今回のテーマは、「葉露」。元はバラバラだった雨が葉の上で一滴の露となるように、普段は別々の活動をしている各大学生と青年部がつながってお茶会を作り上げたい、という思いを込めたテーマでした。残念ながら、新型コロナウイルスの影響で、青年部席で予定していたお濃茶席は、逆勝手のお薄席となりました。

◆平成二十二年六月十四日(日)
場所/妙心寺 龍泉庵



学生薄茶席



学生薄茶席



青年部席



青年部席



会員大会



保津川くだりをイメージした呈茶席

中西宗修業鉢先生による
茶花指導



楽しい懇親会、懇親会II



◆平成二十二年十月十日(土)・十一日(日)
場所／亀岡 大本本部(天恩郷・烟河)

清々しい秋晴れの中、松久保名営地区長をはじめ多数のご来賓の先生方にお越しいただき、百六十余名が集う会員大会が二日にわたって開催されました。

初日は、大本本部で呈茶と式典・講習会が行われました。

亀岡ということで、保津川くだりをイメージした舟形の畳で茶箱のお点前、菅笠を被った船頭姿の男性陣がお運びを担当し、お呈茶席を盛り上げました。

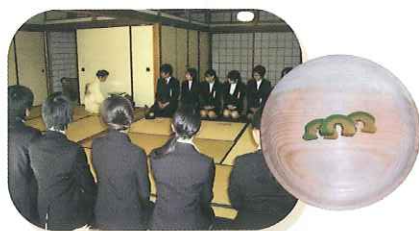
式典では、組織部の長谷川義翁課長による総本部報告、全国代表者会議議長長の古川清一様による全国委員助言をいただきました。実技講習では、今日庵業鉢中西宗修先生をお迎えして「茶花について」のご指導をいただきました。

その後、湯の花温泉郷「烟河」に移り、支部ごとの登壇PRを交えた懇親会、趣向を凝らした四つの部屋を巡り歩く懇親会IIが催されました。

翌日は会場を大本にもどし、秋草が咲き誇る露地を通り、由緒ある茶室「万祥軒」にて、趣のある一服を差し上げました。副席は能舞台のある「春陽閣」で行われました。この席は、やむなく中止となった第四十八回近畿地区大会の青年部席の道具組でおもてなしいたしました。それぞれの席で前日の業鉢先生のご指導が活かされたお花が色を添えていました。

「勇気をもって行動しよう！今、私たちができること」のテーマのもと、よく学び、交流を深めることができた二日間になりました。

副席



本席



エキスカッションの作陶教室





お宝何でも 鑑定大会



協議会・研修会

◆平成二十二年十二月六日(日)
◆場所／ホテルグラン京都清水



模擬オークション風景

元ブロック長の三島敏明氏を講師にお迎えし「お宝何でも鑑定大会」と銘打ちお道具についてのお話を伺いました。美術品としての価値のあるもの、その場所にあるからこそ値打ちがあるものなど、なるほどと思う事柄を美術品の模擬オークションも交え、軽妙な語り口で聴く側も思わず笑ってしまうほど楽しい研修会でした。



二年目に入つての最初の協議会では、昨年度の行事報告・今年度の活動予定を確認し、一ヶ月後に控えた全国大会について、「わたしの『盆運動』やフェスティバル出展ブース「岡八茶屋」への協力依頼など、目前に迫った「大イベント」への期待をかき立てられる内容豊かな会議になりました。最後にフェスティバルのフイナーレ曲の「ハナミズキ」を出席者全員で練習しました。



協議会

◆平成二十二年二月七日(日)
◆場所／京都私学会館





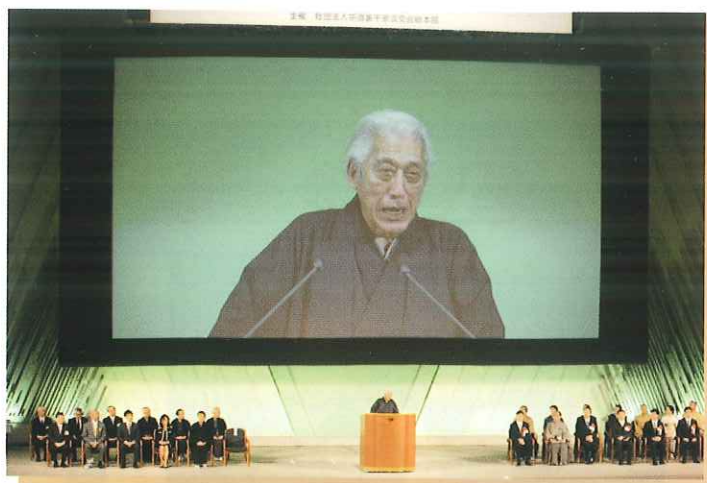
式典・講演会

二十一日(日)

平成三十三年三月二十日(土・二十一日)
場所／国立京都国際会館

全国の青年部会員が一同の中、壇上に映し出されるオープニング映像で式典はスタートしました。映像では全国の青年部の凝りに凝った紹介の映像が映し出されました。古川全国代表者会議議長の全国大会アピールの発表、続いて優秀な活動を行った青年部の部門別表彰式が行われました。残念ながら近畿第二ブロックからはエントリーされませんでしたが、今回は狙っていたですね。式典の後は、大宗匠と御家元に御講演いただきました。大宗匠からは、青年部設立

時のエピソードなどのお話をいただき、特に「青年茶人のお互いに理解しあうという気持ちをもつて茶道の良さを知っていただきたい。」という言葉が心に残りました。御家元からは、「わたしの一盃」運動や大会テーマに触れたお話の中で、「まずはお茶を味わっていただくことから始めればよい。誰でも自分の器に合わせて取り組むことのできる活動を継続して欲しい。」と私達が青年部活動を行う上で心強いお言葉をいただきました。



初めてのころみ「わたしの一盃」運動



ブロック紹介ビデオ、これが大賞をいただくとは?

Aコース・Bコース 3席ずつそれぞれの趣向を楽しみました。

Bコース



濃茶席

全国委員会

青年部60周年を祝し、「青年部の過去・現在・未来」をテーマに大宗匠、お家元への感謝の気持ちをこめた一皿を。



薄茶席

裏千家学園同窓会

LEDの光の演出を背景に「自然の姿」をテーマに学園に縁の方々のお道具を使ったお席でした。



薄茶席

大学茶道合同

(お茶の水女子大学茶道部・同志社大学茶道部) 伝統・見立て・手造りのお道具でテーマ「出会い」を表現したお席は、若々しい振袖姿が華やかでした。

Aコース



濃茶席

歴代正副委員長・正副議長

「温故知新」をテーマに青年部卒業生が亭主、現役会員が客で、丸テーブルを囲み和やかな会話を楽しみました。



薄茶席

京都青年会議所

坐忘齋家元好の座礼棚を用いて、現代を象徴する「ECO」をテーマにリサイクル可能なお茶を表現。



薄茶席

みどり会

「40年に渡るみどり会の姿」と「一皿からピースフルネスを」をテーマに海外の品々を見立てたお席でした。



茶会・フェスティバル

二十日(土)

青年部第15回全国大会・青年部設立60周年記念

未来への約束——今、私たちにできること——

◆平成二十二年三月二十日(土)・二十一日(日)
◆場所/国立京都国際会館

合同茶会



今回で五回目となる合同茶会、素晴らしい秋晴れの元「冬もみじ」のテーマで二百名程のお客様に来ていただきました。

大学生による薄茶席に加えて、今回はOBによる薄茶席も加わり、彩りをそえました。

青年部席は、広いお庭の見える由里本出筆の襖絵の部屋で濃茶を担当、炉開きということで、お善哉をお出しし、始終和やかな雰囲気の中で、一日を過ごしていただきました。



学生薄茶席



OB薄茶席



青年部濃茶席



近畿第二ブロックの研修会が古都奈良の薬師寺 まほろば会館で行われました。

ブロック研修会

式典では、淡交会総本部事務局次長 橋本二郎氏・青年部全国代表者会副議長 長谷川二法氏の今の青年部の置かれている現状についての報告、もっとお茶について日常の中に取り入れていく具体策などについて提案をいただきました。



日程

午前10時40分 受付・見学
正午 呈茶
午後1時30分 式典
午後3時30分 講演・聞香体験

講師 近畿第二地区 名譽地区長 松久保秀胤先生

いよいよお香の講演と体験です。松久保先生より、簡単なお香の歴史と茶道との結びつきのお話をお聞きした後、お家流先生の説明で、松久保先生の御息女にお香の手前を披露いただき、そして、実際に源氏香の体験を行いました。



平成二十二年十一月十四日(日)
場所／奈良薬師寺 まほろば会館

参加者の感想

◆一番印象に残った話は？

A: これからの青年部の姿勢についてのお話が考えさせられました。まずは自分たちが楽しんで勉強する姿を見てもらって、後進の方がついてきていただけるようにしたいです。

◆お香の話はどうでしたか？

A: お香の歴史だけでなく、茶道やお花との関わりなども学べてとても勉強になりました。茶道の中では主役にならず、そっと薫るぐらいが丁度いい、ということとを忘れず、これからも励んでいきたいと思いました。

A: 初めて聞香を体験しましたが、実際に香りを聞いてその奥深さと優雅さを身をもって知ることができ非常に面白かったです。松久保先生のお話も面白く、お茶とお香の関わりを勉強することができて良かったです。

◆奈良の感想は？

A: 何回来てもお寺や町並みに落ち着き、癒されます。今日はまたま除幕式を拝見し、お経を耳にすることが出来たのですが、やはり奈良にはお経の音が合いますね。またゆつくりと訪れたいです。



国際交流研修 IN 韓国

◆平成二十二年九月三日～五日
場所／韓国釜山市

今回で第三回目となる国際交流研修を韓国の釜山市で開催しました。初日は釜山女子大学での韓国の茶道（茶礼）の見学と体験、私達裏千家の茶道の舞台でのデモンストレーションの後、体験コーナーで日本の茶道に触れていただきました。

二日目は古い窯跡を見学し、窯元の訪問や韓国の寺院を訪ね、その後市場巡りをしました。韓国の茶道文化に触れ、釜山の文化や人々にも触れ、青年部会員の親睦も一層深められた有意義な国際研修でした。



編集後記

藤原奈緒美（鴻の里）

お茶を通じてのたくさんの人に出会えた二年間で、お茶に感謝。ブロックのみんなに感謝。

藤井博史（紫野）

「楽しく活動」を合言葉にみんなで活動した二年間でした。お茶とお酒の好きな全委員に感謝です。

遠藤妃と美（水の郷）

写真を見ているだけで楽しかった行事の二つが思い出されます。二年間ありがとうございました。

山元祐子（水の郷）

お席の手伝いもそこそこ、写真撮影と称し、のんびりお茶をいただくこと多々。皆様、ほんとにありがとうございました。

吉川 攝（佐保姫）

今期もさまざまなブロック行事がありました。時間と場所は違っても、お茶を楽しむ心は同じ。その名の通り「千里同風」を楽しい仲間と過ごせたことは、一生の宝物です。

俵 裕史（佐保姫）

行事や会議に殆ど参加出来ず、委員会の皆様にはご迷惑ばかりお掛けした二年間でした。

青木一恵（まほろば）

発行までのいろいろな作業を、片岡さん・藤井さん本当にご苦労さまでした。無事にきれいに仕上がり、うれしいです。

奥本佳恵（まほろば）

この二年間、大変恵まれたメンバーの中で広報・IT委員会の活動をさせていただきました。皆様に感謝。ありがとうございました。

関口博郎（東山）

水原精田郎（紫野）

あつという間の二年間でした。この同風を手にして皆さんの楽しい思い出が甦ればと思います。

片岡潤哉（紫野）

勇気と気づきを教えてもらった広報・IT委員会。みなさんに支えられて、無事終了です。ありがとうございました。